

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構
(KG-A: Kansai Geo-informatics Agency)

運営規則・運営要領

平成 22 年 7 月 27 日

関西圏地盤DB運営機構 運営規則

平成 17 年 4 月 1 日制定

平成 22 年 7 月 27 日改定

第 1 章 総 則

第 1 条 この機構は、関西圏地盤DB運営機構（以下、「DB 機構」という）と称す。また、英語名は Kansai Geo-informatics Agency とし、略称を KG-A とする。

第 2 条 DB 機構は、財団法人 地域 地盤 環境 研究所（以下、「財団」という）に置き、財団が運営実務を財団の公益事業の一環として務める。

第 3 条 DB 機構は、本運営規則に則り、「関西圏地盤DB運営機構 運営要領」を作成し、この運営要領に従って運営実務を行う。

第 2 章 目的および事業

第 4 条 DB 機構は、関西圏地盤情報ネットワーク（以下、「KG-NET」という）を形成する組織の一つとして、関西圏地盤情報協議会（以下、「KG-C」という）及び関西圏地盤研究会（以下、「KG-R」という）と協力し、関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）を“関西圏の財産”と位置づけ、関西圏における地盤情報活用の更なる発展を担うため、次の役割を果たすことを目的とする。

- ・データベースの追加，更新及び維持管理
- ・データベースの相互利用，提供

第 5 条 DB 機構は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 地盤調査情報のデータベースへの追加・更新
- (2) データベースの維持管理
- (3) データベースの提供実務
- (4) KG-R 刊行物の販売や活動 P R 等の支援活動
- (5) その他、DB 機構の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 DB 利用会員

第 6 条 DB 機構は、データベースを利用するものを DB 利用会員（以下、「会員」という）として募集する。会員は、次の 2 種とする。

- (1) KG-C 利用会員・・ KG-C 行政構成員及び公益構成員でデータベースを利用するもの
- (2) 一般利用会員・・ KG-C 利用会員以外でデータベースを利用するもの

第 7 条 会員の入会及び退会の手続きと許可は、運営要領に従う。

第4章 資産および会計

第8条 DB機構の資産は、次のとおりとする。

- (1) 関西圏地盤情報の活用協議会（前協議会）から移管された資金等
- (2) DB利用会員からの会費による収入
- (3) 関西圏地盤情報データベースの貸出し等による収入
- (4) その他の収入

第9条 DB機構の資産のうち現金は、銀行口座に預け入れし、財団において管理する。

第10条 DB機構の事業遂行に要する費用は、資産収入をもって支弁する。

第11条 DB機構の事業計画及びこれに伴う収支予算は、KG-C幹事会の承認を受けなければならない。事業計画及び収支予算を変更した場合も同様とする。

第12条 DB機構の収支決算は、毎会計年度終了後2箇月以内に財団が作成し、KG-C幹事会の承認を受けなければならない。

- 2 DB機構の収支に関わる監査は、財団の監査体制により実施する。
- 3 DB機構の収支決算に余剰金のあるときは、翌年度に繰り越す。ただし、過大な余剰金を次年度に繰り越さないこととする。

第13条 DB機構の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第5章 代表および職員

第14条 会費請求等においてDB機構の代表は財団理事長とし、DB機構・財団の連名で表記する。

第15条 DB機構の役務を担当する者は、財団が選任する職員とする。

第6章 会議

第16条 DB利用会員へのデータベースの頒布及びKG-NET活動に関わる情報提供、意見回収を目的として、DB利用連絡会を年1回開催する。

第17条 財団担当職員は、KG-C総会と幹事会に出席し、必要に応じて報告を行う。

第7章 規則の変更ならびに運営事務の解除

第18条 DB機構の運営規則を変更する場合は、KG-C総会の承認を得なければならない。

第19条 財団がDB機構の運営実務を解除する場合は、KG-C総会の承認を得なければならない。ただし、財団が解散する時はこの限りでない。

第8章 補 則

第20条 この規則は、関西圏地盤情報の活用協議会が承認し、KG-NET が活動を開始する日から施行する。

付 則

1. 第6条の変更は、平成22年7月27日から施行する。

関西圏地盤DB運営機構 運営要領

平成 17 年 4 月 1 日制定
平成 22 年 7 月 27 日改正

1. 総則

この運営要領は、関西圏地盤DB運営機構（以下、「DB 機構」という）運営規則第 3 条に基づき、DB 機構の運営実務に必要な事項を定めたものである。

DB 機構は、「関西圏地盤DB運営機構 運営規則」及び「関西圏地盤情報ネットワーク 協定書」を遵守し、関西圏地盤情報協議会（以下、「KG-C」という）幹事会の指導に従って事業を実施する。また、DB 機構は KG-C にその実施状況を報告する。

DB 機構は、KG-C より関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）の提供を受け、所有するコンピュータ・システム上にデータベースを設置し、そのデータベースの運営に関する実務を行う。

2. 事業

DB 機構は、運営規則第 5 条に従い次の事業を行う。

(1) 地盤調査情報のデータベースへの追加・更新

- ◇ KG-C より貸与される地盤調査情報のデータベースへの追加・更新（入力作業）を行う。
- ◇ 入力本数は、年間 500 本を目標数とし、収入予算に応じて本数を調整する。
- ◇ KG-C より依頼された場合は、KG-C 構成員のデータ収集を補助する。
- ◇ 提供された資料原本は PDF 化を行い、入力作業や入力ミス等に対処するために保管する。

(2) データベースの維持管理

- ◇ データベースのマスターデータを一括して保管・管理する。
- ◇ 入力データにミスが認められた場合は、修正作業を行い、品質の維持に努める。

(3) データベースの提供実務

- ◇ DB 利用会員及び研究利用者へのデータベースの提供実務を行う。

(4) 支援活動

- ◇ 関西圏地盤研究会（以下、「KG-R」という）の刊行物の販売等を支援する。
- ◇ KG-NET 各組織の活動に関する PR 等を支援する。

(5) その他、DB 機構の目的を達成するために必要な事業

3. DB利用会員

DB機構は、運営規則第6条に従い、次のDB利用会員（以下、「会員」という）を募集する。

1. KG-C利用会員 ・・ KG-C行政構成員及び公益構成員でデータベースを利用するもの
2. 一般利用会員 ・・ KG-C利用会員以外でデータベースを利用するもの

(1) 参加資格

A. KG-C利用会員

◇ KG-Cの行政構成員及び公益構成員を対象とし、入会を申し出たもの。

B. 一般利用会員

◇ KG-C利用会員以外を対象とし、入会を申し出て、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守する誓約を行ったもの。

(2) 入会・退会の手続き

A. 入会・退会

◇ DB機構への入会・退会の手続きは、次の書面の提出をもって行う。

会員	入会	退会
KG-C利用会員	入会申込書（様式第1号）	退会届（様式第3号）
一般利用会員	入会申込書（様式第2号）	退会届（様式第4号）

B. 代表者等の変更連絡

◇ 会員が代表者等を変更する場合には、DB機構へ書面で連絡することを周知徹底する。

(3) DB利用会費

- ◇ 会員に対しては、DB利用会費（以下、「会費」という）を請求する。
- ◇ 会費は、年額10万円とする。
- ◇ 会費の請求は年度始めに行い、年度途中の入・退会に対して会費の減額・返金を行わない。
- ◇ 会員は、会費の納入をもってデータベースを利用する権利を得ることを周知する。

4. データベースの提供

DB 機構は、次の方法により会員等にデータベースを提供する。通常は、CD-ROM による提供を基本とする。

1. 関西圏地盤情報 CD-ROM (以下、「CD-ROM」という)
2. デジタルデータ (生データ)

(1) CD-ROM の提供

A. CD-ROM の作成

- ◇ 財団は、データベースと利用ソフトを収録した CD-ROM を毎年更新・作成する。
- ◇ データベースは毎年度の新データを追加収録し、利用ソフトは財団より無償で提供する。
- ◇ CD-ROM には、次年度の 9 月 30 日を期日とする使用有効期限を設ける。
- ◇ CD-ROM は、1 枚で 1 CPU の利用とする。

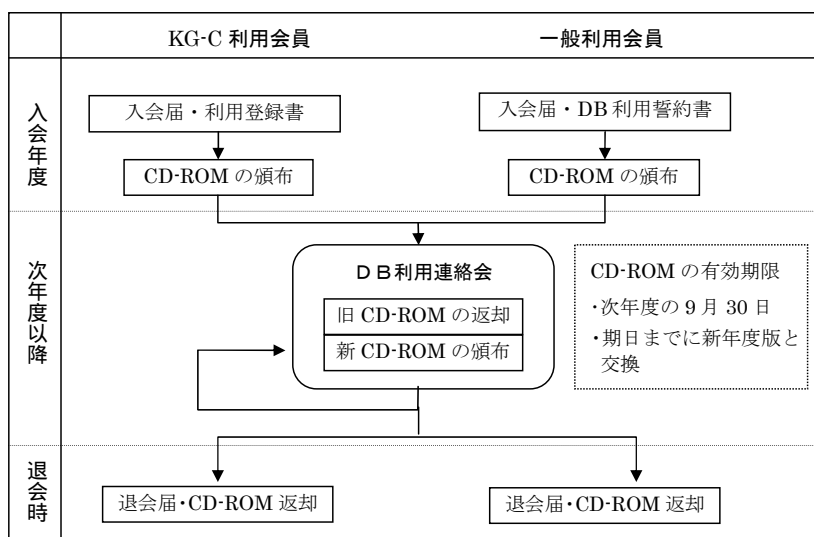
B. 提供手続きと頒布数

- ◇ 下表の手続きに従い、会員に CD-ROM を提供する。
- ◇ 会員が上限枚数を超えて利用を希望する場合は 1 枚当たり 1 万円を負担する。
- ◇ KG-C 学識構成員には研究活動のために無償で 1 枚を提供する。

会員	CD-ROM 利用手続き	頒布枚数
KG-C 利用会員	利用登録書 (様式第 5 号)	最大 10 枚
一般利用会員	入会届の提出	1 枚

C. 頒布・返却 (DB 利用連絡会)

- ◇ 会員への CD-ROM の頒布及び KG-NET 活動に関わる情報提供、意見回収を目的として、「DB 利用連絡会」を年 1 回、CD-ROM の使用有効期限までに開催する。
- ◇ CD-ROM の頒布・返却の流れは、下図のとおりとする。



(2) デジタルデータ（生データ）の貸出提供

A. 対象者と条件

- ◇ DB 利用会員には、デジタルデータの提供を認める。
- ◇ 提供にあたっては、利用目的が明確なことを条件とする。

B. 提供方法

- ◇ デジタルデータの提供は、有償での貸出しとする。
- ◇ 利用料・経費は下表に従って算出し、貸出期間は提供日より 1 年間とする。
- ◇ 利用者は「利用申込書」（様式第 6 号）に利用目的等の事項を記述して提出する。KG-A は利用申請の内容を確認し、データ提供の実務を行う。提供状況は KG-C に報告する。
- ◇ 利用者は貸出期間終了後にデータを返却し、返却報告書（様式第 7 号）を提出する。
- ◇ 以上の詳細は、「デジタルデータ貸出提供の利用要領」（別表 4）に定める。

利用数量	利用料	作業費等	備考
①全データ貸出	45 万円	2 万円	・作業費，媒体料として 2 万円加算する
②部分的な貸出			算出式＝本数×1000 円/年＋作業費等
10 本以内	1 万円	1 万円	・利用数は 10 本単位に切上げる
11～20 本	2 万円	〃	・作業費，媒体料として 1 万円加算する
21～30 本	3 万円	〃	
…	…		

(3) 研究利用制度

学術的研究を目的とする大学研究者等の利用に供するため、「研究利用制度」を設ける。

- ◇ この制度の利用を希望する研究者には「研究計画調書」（様式第 9 号）の提出を求め、KG-R 委員長の承認を得て採否を決定する。
- ◇ データベースの提供方法は CD-ROM またはデジタルデータとし、貸出期間は 1 年間とする。また、データ利用にかかる経費は、無料とする。
- ◇ 研究利用制度の適用を受けた研究者（以下、「研究利用者」という）は、研究成果を報告する義務を負う。利用期間終了後にデータを返却するとともに、研究利用報告書（様式第 10 号）と研究成果物を提出する。
- ◇ 以上の詳細は、「データベース研究利用制度の利用要領」（別表 5）に定める。

(4) 会員の義務（利用上の取り決め）

各会員のデータベース提供に際しては、次の取り決めを実施する。

- ◇ 会員は、データベースの利用に際して、「DB 利用会員 参加規則」（別表 1）、「データベースの利用に関する取り決め」（別表 2）を遵守することを義務とする。
- ◇ 一般利用会員は、入会時にこの取り決めを遵守する旨の「データベースの利用に関する誓約書」（別表 3）を提出する。
- ◇ この取り決めに違反する会員がある場合は、データベースの提供を停止し、退会を促す。

5. 関西圏地盤研究会との連携

DB 機構は、KG-R の研究活動を支援するために、次の連携を図る。

- ◇ データベースシステムの提供
- ◇ 地盤調査情報のデータ入力における対象地域の調整
- ◇ KG-C から KG-R へのデータベース提供実務の代行

6. 運営

DB 機構は、運営規則第 4 章等に従い、以下の運営を行う。

(1) 事業計画と予算編成、経理・決算処理等

- ◇ DB 機構の事業計画及びこれに伴う収支予算は、KG-C 幹事会の承認を受ける。事業計画及び収支予算を変更した場合も同様とする。
- ◇ 事業計画及び収支予算の作成は、KG-C 幹事長・副幹事長と調整のうえ、KG-C 幹事会の開催日までに行う。KG-C 総会へは、KG-C 幹事会を介して報告する。
- ◇ 事業による収支の経理処理は、財団内で実施する。また、収支決算は、毎会計年度終了後 2 箇月以内に財団が作成し、KG-C 幹事会の承認を受ける。
- ◇ 収支に関わる監査は、財団の監査体制により実施する。
- ◇ 収支決算に余剰金のあるときは、翌年度に繰り越す。ただし、過大な余剰金を次年度に繰り越さないこととする。その収支調整は、KG-C 幹事長・副幹事長と協議して行う。
- ◇ 財団は、DB 機構の角印を作成する。代表印は財団理事長印を使用する。

(2) 収入

A. 運営原資（資産等）

DB 機構を運営するための原資は、次のとおりとする。

1. 関西圏地盤情報の活用協議会（前協議会）から移管された資金等
2. DB 利用会員からの会費による収入
3. 関西圏地盤データベースの貸出し等による収入
4. その他の収入

B. 会費請求等

- ◇ 会費請求等では、DB 機構の代表者として財団理事長印を使用し、DB 機構・財団の連名で表記することを認める。
- ◇ DB 機構の資産のうち現金は、銀行口座に預け入れし、財団において管理する。

(3) 支出

A. 支出細目と予算固定費

- ◇ DB機構の支出細目と予算固定費は、付表-1のとおりとする。
- ◇ これ以外に支出を予定する場合は、KG-C 幹事長・副幹事長と協議の上、KG-C 幹事会の承認を得るものとする。
- ◇ DB 利用連絡会における講演謝礼等については、「関西圏地盤研究会 旅費・謝金等支給要領」に従うものとする。

付表-1 DB機構の支出細目と予算固定費

(平成 22 年 7 月)

1. 基礎運営費		
(1) DB利用連絡会会議費	実費	
(2) 事務代行費	100 万円	(固定：経理処理等の運営実務)
2. データベース維持拡張費		
(1) データ入力	500 万円	(年間 500 本を最少目標数とする)
・報告書入力	本数×1 万円	(入力・データ確認作業)
・電子納品データ入力	本数×5 千円	(変換・データ確認作業)
(2) データ収集・保管	実費	(収集作業, PDF 作成等)
(3) ハードウェア維持費	50 万円	(固定)
3. CD-ROM 作成費		
(1) 編集作業	40 万円	(固定)
(2) プレス代	50 万円程度	(300 枚プレス, コピープロテクト)
4. その他経費		
(1) 文房具等	実費	
(2) その他	実費	
<hr/>		
< 予算目標 >	850 万円程度	

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 参加規則

平成 17 年 4 月 1 日 制定

平成 22 年 7 月 28 日 改定

第 1 章 総 則

第 1 条 この規則は、KG-NET・関西圏地盤DB運営機構（以下、「DB 機構」という）に参加する DB 利用会員（以下、「会員」という）の参加規則を定めたものである。なお、KG-NET は、関西圏地盤情報ネットワークの略称である。

第 2 章 目 的

第 2 条 会員は、関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）を広く公益のために利用することを目的とする。ここで、「公益」とは、学術的研究、防災、一般も含む建設事業の安全・効率化等の広い意味での公共の利益に寄与する活動のことをいう。

第 3 章 会 員

第 3 条 会員は、次の 2 種よりなる。

(1) KG-C 利用会員 ・ 関西圏地盤情報協議会 (KG-C) の行政構成員及び公益構成員でデータベースを利用するもの

(2) 一般利用会員 ・ KG-C 利用会員以外でデータベースを利用するもの

2 会員の入会及び退会の手続きは、書面の提出をもって行う。

3 会員は、代表者や連絡担当者に変更のある時は、DB 機構に速やかに書面で連絡する。

第 4 章 データベースの利用

第 4 条 会員は、データベースの利用に際して、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守する。また、一般利用会員は、入会時に「データベースの利用に関する誓約書」を提出する。

2 データベースの提供は、「関西圏地盤情報 CD-ROM」（以下、「CD-ROM」という）等で行う。この頒布は、毎年開催する「DB 利用連絡会」（以下、「連絡会」という）において行う。

3 CD-ROM の使用有効期限は、翌年度の 9 月 30 日までとする。CD-ROM は、1 枚で 1 CPU の利用とする。

4 KG-C 利用会員は、「関西圏地盤情報データベース 利用登録書」を連絡会の開催日までに DB 機構に提出する。

第 5 章 会費とデータベース利用の権利

第 5 条 会員は、毎年、DB 利用会費（以下、「会費」という）を DB 機構に支払う。会費額は、年 10 万円とする。

2 会費の請求は年度始めに行う。年度途中の入・退会に対して会費の減額・返金は行わない。

3 会員は、会費の納入をもってデータベースを利用する権利を得ることとする。

付 則

1. 第 3 条の変更は、平成 22 年 7 月 27 日から施行する。

データベースの利用に関する取り決め

関西圏地盤情報協議会
関西圏地盤DB運営機構
平成 17 年 4 月

関西圏地盤情報協議会（以下、「KG-C」という）が管理し、関西圏地盤DB運営機構（以下、「KG-A」という）が運営する関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）は、以下の取り決め事項を遵守の上、利用していただきます。

1. 利用手続き

データベースは、KG-A の所定の手続きに従って入会の申込みを行い、入会が許可された DB 利用会員（以下、「会員」という）のみが利用することができます。

会員のうち一般利用会員は、本取決めの内容を遵守する旨の「データベースの利用に関する誓約書」を KG-A に提出しなければなりません。

2. 利用目的

データベースの利用は、学術的研究や防災、一般も含む建設事業の安全・効率化などの広い意味での公共の利益に寄与するものでなければなりません。

3. データ利用上の責任

データベースは、データ入力の品質確保に努めていますが完全なものではありません。また、原データの品質についても吟味が十分ではありません。データの信頼性については、データベースの多数のデータをもとに利用者の責任で判断してください。KG-C 及び KG-A は、一切の責任を負いません。

4. データベースの管理

データベースは、会員の責任において管理してください。適正な管理と利用がなされない場合は、利用権の取り消し（返却）を求める場合があります。この場合は、利用会費の返金はいたしません。

データベースは毎年度定期的に新しいデータの追加された新しいデータベースと交換します。

5. 不正使用、第三者への譲渡の禁止

データベースのデータの所有権は提供機関に帰属し、KG-C はデータベースを管理・所有しています。よって、データベースをいかなる事由によっても無断で複製することを禁じます。

また、データベースは、会員以外の第三者に譲渡してはなりません。

6. 利用成果の公表

データベースを利用して得られた成果を公表する場合は、“関西圏地盤情報データベースを利用”した旨を公表物に明記してください。また、公表物を KG-A に送付してください。

注) データの転売、営業、建築確認申請等における虚偽の利用等は、データ公開の趣旨に反する行為であり、データベースの利用目的としては認められません。

データベースの利用に関する誓約書（一般利用会員）

関西圏地盤情報協議会（以下、「KG-C」という）が管理し、関西圏地盤DB運営機構（以下、「KG-A」という）が運営する関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）の利用に関して、次のとおり誓約いたします。

第1条（対象）

この誓約書が対象とするデータベースは、関西圏地盤情報データベースとします。

第2条（利用目的）

データベースの利用にあたっては KG-C 及び KG-A の活動目的を十分に理解し、データベースの利用上の注意である「データベースの利用に関する取り決め」を遵守して利用します。

第3条（データベースの管理等）

データベースは、自機関の責任において管理します。

第4条（データベースの複写等の禁止）

データベースのみの2次的利用、譲渡、貸与のための複写はしません。

データベースのデータの全部または一部を第三者に貸与、譲渡することはありません。

第5条（データベース利用上の責任等）

データベースのデータの信頼性については自機関の責任で判断し、データベースの利用で生じた損失等に対して賠償等の請求は一切しません。

第6条（データベースによる成果の公表）

データベースを利用して得た成果を公表する場合は、“関西圏地盤情報データベースを利用”した旨を明記します。

第7条（誓約書の周知・遵守）

本誓約書の内容は自機関内に周知し、遵守するよう努めます。

第8条（返却）

退会の際、および自機関の過失または故意により本誓約書の内容に違反した場合は、顛末書を提出し、KG-A の求めに応じてデータベースおよびこれに関する一切の資料を返却します。

第9条（協議事項）

この誓約の改定を必要とするとき、またこの誓約に定められていない事項および本誓約書の解釈上の疑義等については、必要の都度速やかに相談し、円満に解決を図るようにします。

この誓約の証として、本誓約書2通を作成し、記名捺印のうえ内1通を提出します。

平成 年 月 日

関西圏地盤情報協議会
関西圏地盤DB運営機構 殿

DB利用会員
代表者

デジタルデータ貸出提供の利用要領

関西圏地盤情報協議会

関西圏地盤DB運営機構

平成 22 年 7 月

関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ（生データ）の貸出提供の利用にあたっては、以下の要領に従ってください。

1. デジタルデータの利用手続き

デジタルデータ貸出提供の利用対象者は、KG-A に参加する DB 利用会員です。

利用にあたっては、「関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出利用申込書」（様式第 6 号）を関西圏地盤 DB 運営機構（KG-A）へ提出してください。KG-A が利用申請の内容を確認し、データ提供の実務を行います。なお、利用目的が、「利用規約」の“利用目的”にそぐわない場合は、貸出を行いません。

2. デジタルデータの貸出

デジタルデータの貸出は、電子媒体により行います。

データの貸出期間は、貸出開始日より 1 年間です。

データ利用料は、KG-A 運営要領に従い、KG-A より請求します。

3. デジタルデータの返却

利用者は、貸出期間終了後、直ちにデジタルデータを返却してください。返却時には、データ返却報告書（様式第 7 号）を提出し、データの複写等を行った場合は、全てを削除してください。

また、以下の場合は、貸出期間未了であっても速やかに返却してください。

- ・DB 利用会員を退会する場合
- ・貸出期間内に利用が終了した場合
- ・KG-A が利用の中止を通告した場合

以上の返却手続きについて、デジタルデータ（提供媒体）の返却およびデータ返却報告書を確認後、事務局よりデータ返却受領書（様式第 8 号）を発行します。

4. デジタルデータの利用に関する取り決め

利用者は、“利用目的”、“データ利用上の責任”、“データベースの管理”、“不正使用、第三者への譲渡の禁止”および“利用成果の公表”の各事項については、「データベースの利用に関する取り決め」に規定される内容を遵守してください。

データベース研究利用制度の利用要領

関西圏地盤情報協議会
関西圏地盤DB運営機構
平成 22 年 7 月

関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）の「研究利用制度」（以下、「本制度」という）の利用にあたっては、以下の要領に従ってください。

1. データベースの利用手続き

本制度の適用対象者は、学術的研究を目的とする大学研究者等です。

本制度の利用を希望する研究者は、「関西圏地盤情報データベース研究利用調書」（様式第 9 号）を提出してください。関西圏地盤研究会（KG-R）の承認を得て採否を決定します。

2. データベースの提供

本制度の適用を受けた研究者（以下、「研究利用者」という）には、データベースを提供します。

データベースの提供方法は CD-ROM またはデジタルデータとします。

データベースの貸出期間は、研究利用が認められた日より 1 年間です。

データベースの利用にかかる経費は、無料です。

3. データベースの返却・延長

提供期間終了時には、データベースを速やかに返却してください。

研究内容の変更または貸出期間の延長を希望される場合は、それまでの研究成果を報告のうえ（4. 研究成果の報告）、再度、研究利用調書を提出してください。

4. 研究成果の報告

提供期間の終了とともに、研究成果を KG-R に報告してください。

報告内容は、「研究利用報告書」（様式第 10 号）と「研究成果物」の提出とします。「研究利用報告書」については、関西圏地盤情報ネットワーク（KG-NET）のホームページに公開します。

また、KG-R 会員等への研究成果の報告を依頼する場合があります。その場合は、KG-R が交通費等を負担します。

5. データベースの研究利用に関する取り決め

研究利用者は、“利用目的”、“データ利用上の責任”、“データベースの管理”、“不正使用、第三者への譲渡の禁止”および“利用成果の公表”の各事項については、「データベースの利用に関する取り決め」に規定される内容を遵守してください。

関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 入会申込書 (KG-C 構成員用)

DB利用会員 (KG-C 利用会員) として入会を申し込みます。

平成 年 月 日

1. 申込者 (代表者)

機 関 名 : _____

代表者氏名 : _____ 印

代表者役職 : _____

住 所 : 〒 _____

電 話 : _____ FAX : _____

2. 連絡担当者 (利用責任者)

担当者氏名 : _____

部署・役職 : _____

住 所 : 〒 _____

電 話 : _____ FAX : _____

E-mail : _____

※会報等は E-mail で送信いたしますので、必ずご記入ください。

3. 関西圏地盤情報協議会の会員種別

KG-C 行政構成員

KG-C 公益構成員

4. データベースの利用

関西圏地盤情報データベースの利用に際しては、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守します。

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 入会申込書（一般用）

DB利用会員（一般利用会員）として入会を申し込みます。

平成 年 月 日

1. 申込者（代表者）

法人/組織名： _____

代表者氏名： _____ 印

代表者役職： _____

2. 連絡担当者（利用責任者）

担当者氏名： _____

部署・役職： _____

住 所： 〒 _____

電 話： _____ FAX： _____

E-mail： _____

※会報等は E-mail で送信いたしますので、必ずご記入ください。

3. データベースの利用

関西圏地盤情報データベースの利用に際しては、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守します。

提出先：(財)地域地盤環境研究所（関西圏地盤DB運営機構）

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

受付番号	受付年月日		

関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 退会届 (KG-C 利用会員用)

DB利用会員 (KG-C 利用会員) を退会します。

平成 年 月 日

1. 会員

機 関 名 : _____

代表者氏名 : _____ 印

代表者役職 : _____

住 所 : 〒 _____

2. 提供データ

関西圏地盤情報協議会に提供した地盤データについては、協議会に扱いを一任します。

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 退会届 (一般利用会員用)

DB利用会員 (一般利用会員) を退会します。

平成 年 月 日

1. 会員

法人/組織名 : _____

代表者氏名 : _____ 印

代表者役職 : _____

住 所 : 〒 _____

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

関西圏地盤情報データベース 利用登録書 (KG-C 利用会員)

データベースの利用及び CD-ROM 利用部署を以下のとおり届けます。

平成 年 月 日

1. 会員 (連絡担当者)

機関名 : _____

申請者 : _____ 所属・役職 : _____

連絡先 : _____

電 話 : _____ FAX : _____

2. 利用部署

	利用部署	保管責任者	電話	FAX
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※利用枚数が 10 枚を超える場合は、別途経費が必要です。

その場合は、本紙をコピーして「2 枚目」と明示してご記入ください。

提出先 : (財) 地域地盤環境研究所 (関西圏地盤 DB 運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

平成 年 月 日

関西圏地盤DB運営機構 御中

(機関・申請者名, 印)

関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出利用申込

下記目的により、関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出利用を申し込みます。

なお、データの利用に際しては「デジタルデータの貸出提供の利用要領」に従い、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守します。また、データは、提供を受けた日から1年間を経過した時点で速やかに返却します。

記

利用目的 (名称) : ※索引となる程度に簡単に記述する

具体的な内容 : ※具体的に記述する

対象地域 : ※例えば“大阪市此花区および大正区”，別途地図を提示

利用者・連絡先 : ※会員機関名，担当者名，所属・部署，連絡先，電話番号を明記

貸出料請求先 :

提出先：(財)地域地盤環境研究所（関西圏地盤DB運営機構）

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

平成 年 月 日

関西圏地盤DB運営機構 御中

(機関名・申請者名, 捺印)

関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出し

データ返却報告書

標記について、貸出期間終了となりましたので、貸出しを受けたデジタルデータを下記のとおり返却します。なお、利用作業上、複写等を行ったデータは消去しました。

記

機関名 : _____

貸出日 : _____年 月 日

返却日 : _____年 月 日

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

平成 年 月 日

御中

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構

関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出し

データ返却受領書

標記について、下記の通りデジタルデータおよびデータ返却報告書を受領しました。

記

機関名： _____

貸出日： _____ 年 月 日

受領日： _____ 年 月 日

連絡先：(財)地域地盤環境研究所（関西圏地盤DB運営機構）

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

平成 年 月 日

関西圏地盤情報データベース研究利用調書

関西圏地盤情報協議会 御中

研究代表者 氏名 印
所属研究機関・職・E-mail

下記の研究にデータベースの利用を申し込みます。

利用形態： CD-ROM デジタルデータ（場所：_____）

研究課題：_____

研究内容：（関連する資料等を添付する）

研究成果（予定）：

研究組織（氏名，所属機関・職・E-mail）：

（利用条件）

- ・データベースの貸出期間は貸出しの日から1年間です。期間を延長される場合は再申請を行ってください。
- ・研究内容が変更された場合にも，再申請を行ってください。
- ・データの利用に際しては，「データベース利用に関する取り決め」を遵守してください。
- ・研究利用者は，貸出期間の終了時または期間延長時に，研究利用報告書（様式第10号）を提出してください。同報告書はKG-NETのHPに公開します。また，研究成果（論文等）も提出してください。
- ・KG-Rから依頼された場合，研究利用者は成果の報告を行ってください。交通費等はKG-Rが負担します。
- ・研究終了後は，速やかにデータベースを返却してください。

提出先：（財）地域地盤環境研究所（関西圏地盤DB運営機構）
〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題			
研究者	(所属と氏名)		
研究期間	年 月 ~ 年 月	報告日	年 月 日
研究目的 :			
研究内容と成果 :			
公開資料 (論文等) :			

※貸出期間終了後，研究利用報告書（本様式）と研究成果（論文等）を提出してください。
※研究利用報告書は，KG-NET の HP で公開します。